

令和7（2025）年度 グローカルプロジェクト推進公募要領

グローバル戦略推進センター長 穴 沢 眞

1 趣旨

「小樽商科大学中長期ビジョン・戦略（～2030）」、第4期中期目標・中期計画（及び評価指標）のいずれかに資するプロジェクトを学内公募します。

2 申請者要件

本学に所属する教職員で、同一の取組計画において他から類似の助成金、共同研究費、受託研究費等を受けていない者

3 助成対象・申請要件

本学が掲げるミッション、ビジョン及び第4期中期目標・中期計画のいずれかに資するプロジェクトであること。

また、次のような学内外と連携するプロジェクトを特に推奨します。

- ・他大学や他機関等の学外連携によるプロジェクト
- ・自学科や自身の専門分野を超えた学内連携プロジェクト

<その他要件>

- ・本事業の趣旨に鑑み、本事業によりプロジェクトを推進する必要性、客観的・合理的な理由があること
- ・取組計画と予算計画に整合性があり、本事業による支出に際して説明責任を果たせる計画となっていること
- ・取組計画が明確かつ具体的なものであり、プロジェクトの規模や期間等が適切に設定されていること
- ・成果について定量的または定性的な目標が示されており、達成が可能なものであること

なお、本公募は、教員の教育研究活動に対する単なる予算の追加や、従来行われていた教育研究活動への補填や予算の付け替えと考えられるものは助成対象としません。

（小樽商科大学中長期ビジョン・戦略（～2030）と各ビジョンにおけるキーワード、推奨する研究）

★ミッション:グローバル社会における北海道経済活性化に資する人材育成

★教育ビジョン:未知なる時代に立ち向かうための人間力を育成

★研究ビジョン:産業界・他大学等との連携によるグローバル研究を強化・発展

★社会貢献ビジョン:インクルーシブな高等教育の普及により地域アントレプレナーを育成

【キーワード】「グローバル教育」「アクティブラーニング」「地域課題解決、地域志向教育」「学外学修」「教育DX、遠隔教育手法の開発・改善・評価等」「グローバル研究」「学際的研究、文理融合研究」「大学院生が関わる研究」「地域課題解決型研究(地域シーズの発見・育成、地域再生など)」「市民ニーズへの対応」「企業ニーズへの対応」「地域ニーズへの対応」「初等・中等教育との連携」「リカレント教育」「起業家育成」「グローバル対応」

※特に、研究業績(著書、論文、学会発表、知的財産権等)として成果の期待できる研究、又は科学研究費助成事業やその他外部資金等の獲得に繋がるような萌芽的な研究を推奨・評価いたします。

4 助成金額及び採択予定件数

区分A	■助成金額：1件あたり50万円を上限 ■採択件数：最大2件 ※要件：複数の教職員あるいは学内外複数の組織が実質的に連携していること
区分B	■助成金額：1件あたり25万円を上限 ■採択件数：15件程度（予算に余裕がある場合は追加募集あり）

※応募状況・審査結果によっては、採択プロジェクトの助成金額を減額する場合があります。

※減額となった場合の対処方法について、別紙1申請書の「5 取組計画・実施方法」の欄に記載してください。

※過去のプロジェクト採択状況・実施報告は以下URLからご確認ください。

<https://www.otaru-uc.ac.jp/cgs/rsd/guidance/#guidance2>

5 事業実施期間

採択日より令和8（2026）年3月31日まで

予算執行については、管理課等が12月頃通知する「その他財源(教員研究費等)」の期限に留意。

6 申請手続

令和7（2025）年4月25日（金）17時までに申請書ファイルを以下の Microsoft Forms より提出してください。

<https://forms.office.com/r/aQR04s2Sqp>

7 選考方法

- ・ グローカル戦略推進センターにおいて選考審査（CGS各部門の部門長・副部門長が書面審査）を行い、運営戦略会議を経て、学長が決定します。
- ・ 過去の学内公募事業で採択実績があるプロジェクトに関しては、その成果を選考審査の際の参考とする場合があります。

※評価方法については、「令和7年度グローバルプロジェクト評価要領（別紙）」を参照してください。

8 成果報告

一般公表を前提としてA4一枚にプロジェクトの概要をまとめた**実績報告書（中間報告：12月下旬予定、最終報告：2月下旬予定）**を提出していただきます。また、プロジェクトの成果にかかる詳細なレポート、具体的な成果物、新聞報道事例等がある場合は、併せて提出してください。

9 成果公表

8で提出された実績報告書は、地域及び学生等への成果還元のため、本学webサイトやCGS年報等により公表予定です。また、学内成果報告会等で報告いただく予定です。

10 その他

- ・ 助成金受給者が事業を遂行できなくなったときは、助成金の支給を停止します。
- ・ 不正使用等が発見された場合は、直ちに助成を取りやめます。
- ・ 予算執行にあたっての担当部署は、以下のとおりとなりますので、必要に応じてお問い合わせください。
 - 購入依頼書、立替払請求書 → 本学管理課調達係
 - 謝金支出計画書 → 機構事務局経理課経理第一係
 - 旅行命令簿等 → 本学企画総務課人事係
(旅費計算 → 機構事務局経理課経理第一係)

11 公募に関する問い合わせ先

研究・社会連携推進室グローバルプロジェクト事務担当
glocal-project@office.otaru-uc.ac.jp

12 審査等スケジュール

令和7（2025）年

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 4月25日17時 | （プロジェクト申請者）申請書類提出期限 |
| 5月上旬～中旬 | CGS各部門長・副部門長による審査 |
| 5月下旬 | 運営戦略会議の議を経て、学長が採択決定 → 申請代表者へ通知 |
| 12月 | （プロジェクト申請者）中間報告書提出 |

令和8（2026）年

- | | |
|------|--------------------|
| 2月下旬 | （プロジェクト申請者）最終報告書提出 |
| 3月中旬 | （プロジェクト申請者）学内成果報告会 |
| 6月 | CGS年報に事業概要を掲載 |